

しなののうた

道沿いの蠟梅の花二つ三つ綻び春は間近になりぬ

l.MI

杉田小百合

しなののうた

残雪の轍を拾い拾いつつわれの姿は亀這うごとし

杉田小百合



しなののうた

雪被くべランダ越しの菅平

朝日に映えて光を放つ



杉田小百合

しなののうた

裸木の雪を蹴散らし雀らは枝から枝を謳歌するなり

杉田小百合



しなののうた

喘息の友を案ずる厳寒に音信もなく聞くをためらう

l.MI

杉田小百合